

受賞者
2015
発表

自分のミッションを決めて
自分のローバーで挑戦する



HAKUTO

宇宙時代の地球人を育てる

YAC
日本宇宙少年団

ハクト

プライズ

HAKUTO PRIZE

教材のバルーンローバーを使って、またはヒントにして
自分のローバーミッションに挑戦する HAKUTO PRIZE の受賞者発表！！

YAC
宇宙教育コーディネーター
小定 弘和

HAKUTO
プロボノリーダー
後藤拓也さん



1982 年生まれ。国内 IT ベンダに勤務する傍ら、2013 年 9 月から HAKUTO に加入。HAKUTO では、主にプロモーション活動に従事するプロボノのリーダーを担当している。後藤さんのミッションの一つは、「月までの距離 38 万キロにちなんだ 38 万人に HAKUTO サポーターになってもらうこと！」興味のある人は、HAKUTO のホームページをチェックしよう！

<http://team-hakuto.jp>

ムーン
レイカー賞

HAKUTO
PRIZE

梅崎瑛流

マグネットつき
バルーンローバー
FORCE1

テトリス賞

HAKUTO
PRIZE

転堂夏妃

N-バルーン
ローバー



HAKUTO
PRIZE



ムーンレイカー賞 梅崎瑛流



マグネットつき
バルーンローバー
FORCE1



家にあるものでつくったというところが素晴らしいと思います。安くつくる。また、一品ものじゃなくて量産品を使ってつくるといのはとてもよい視点で、HAKUTO もほとんど秋葉原で買えるもので作っているんですよ。

走りながら磁石で地面のものを集めるというアイデアもいいですね。

いろいろな路面で実験していますが、この発想はすごいです！実験結果から考えて、タイヤの形を変えて再度実験してみるといいと思います。この路面にはこのタイヤ！など考えると面白いですね。

グラウンドで砂が舞い上がったとありますが、月面だとそれはレゴリスです。月の表面にある砂「レゴリス」は片栗粉のようなものだといわれています。舞い上がるとローバーの中に入って故障の原因になるかもしれません。そのため、HAKUTO は防塵性も重視しているんです。タイヤの軸の部分に砂が入らないようにとか。

きっとここに書かれている以上に実験をしているんでしょうね。実験したことはうまくいったこともいかなかったことも記録しておくといいと思います。どちらもいつか将来役に立つ時がくると思います。



テトリス賞 転堂夏妃



N- バルーン
ローバー



タイヤの付け方によって走らなかったとありましたが、こういったことは、実は HAKUTO でもありました。タイヤの直径を大きくして調べたとありましたが、とてもいいですね。HAKUTO もバルーンローバーと同じく、サスペンションやステアリングはついていないんです。タイヤの直径を大きくして、ぐにゃっと曲がることでずれを吸収しているんです。

荷物を積むとバランスがくずれてとありましたが、重心を下にさげてあげることが重要です。ひっくり返ってしまったらおしまいなので、。また、荷物の重さのバランスも大事ですが、ローバー自体の重さを軽くすることもとても大事なんです。実際にローバーを宇宙に運ぶ場合は、1kg1.4 億円かかるといわれています。1g14 万円です。だから私たちはネジ1本でも軽くしたいと考えながら作っています。丈夫でかつ軽い素材が必要なんです。

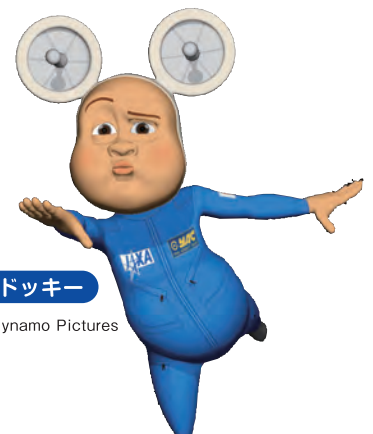
軽い方が安定しているというデータがありますが、これは私にとってもとても興味深いデータです。

太陽光システムについてふれていますが、我々も HAKUTO にソーラーパネルを搭載させています。N- バルーンローバーも太陽光で走れるようになったらいいですね。

とにかくいろいろな実験をしていて驚きました。

梅崎さん転堂さん
HAKUTO PRIZE 受賞おめでとう！
HAKUTO を応援している IHI から
記念品が送られるよ！

株式会社 IHI は、HAKUTO の想いに共感して、
支えている企業の一つだよ。
<http://team-hakuto.jp/partner/>



ドッキー

©Dynamo Pictures